



Cisco Network Assistant **スタートアップガイド**

バージョン 4.1

本社

Cisco Systems, Inc.
170 West Tasman Drive
San Jose, CA 95134-1706
USA

<http://www.cisco.com>

電話 : 408 526-4000
800 553-NETS (6387)

ファクシミリ : 408 526-4100

部品番号 : OL-11452-01



THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

CCSP, CCVP, the Cisco Square Bridge logo, Follow Me Browsing, and StackWise are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn, and iQuick Study are service marks of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, ASIST, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, FormShare, GigaDrive, GigaStack, HomeLink, Internet Quotient, IOS, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, the Networkers logo, Networking Academy, Network Registrar, *Packet*, PIX, Post-Routing, Pre-Routing, ProConnect, RateMUX, ScriptShare, SlideCast, SMARTnet, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0601R)

Cisco Network Assistant スタートアップガイド
© 2004–2006 Cisco Systems, Inc. Tutti i diritti riservati.



はじめに	vii
対象読者	vii
目的	vii
資料の入手方法	viii
Cisco.com	viii
Product Documentation DVD	viii
マニュアルの発注方法	ix
マニュアルへのフィードバック	ix
シスコ製品のセキュリティの概要	x
Cisco 製品のセキュリティ問題の報告	x
テクニカル サポート	xi
Cisco Technical Support & Documentation Web サイト	xii
Service Request の利用	xii
問題の重大度の定義	xiii
その他の広報物および情報の入手方法	xiv

第 1 章

Network Assistant とは? 1-1

第 2 章

Network Assistant の機能 2-1

 前面パネル ビュー 2-3

 トポロジ ビュー 2-5

 メニュー バー、ツールバー、および機能バー 2-7

 メニューバー 2-7

- ツールバー 2-8
- 機能バー 2-9
- 対話モード 2-11
 - ガイド モード 2-11
 - エキスパート モード 2-13
- ウィザード 2-13
- Smartports アドバイザー 2-13
- 特権レベル 2-14
- Network Assistant アップデートの検索 2-15
- オンライン ヘルプ 2-15

第 3 章

Network Assistant のインストール、起動、および接続 3-1

- インストールの要件 3-1
- Network Assistant のインストール 3-2
- Network Assistant の起動 3-2
- 言語設定オプション 3-3
- コミュニティまたはクラスタへの Network Assistant の接続 3-3
 - Network Assistant のアクセス モード 3-4
 - イベント通知 3-5

第 4 章

コミュニティの計画と作成 4-1

- コミュニティの計画 4-1
 - 候補とメンバーの特性 4-1
 - コミュニティに関する制限 4-2
 - 候補とメンバーの自動検出 4-3
 - コミュニティ名 4-4
 - ホスト名 4-4
 - パスワード 4-4

通信プロトコル 4-5
 コミュニティの情報 4-5
 コミュニティの作成 4-6
 デバイスの検出と追加 4-6
 手動によるメンバーの追加 4-7
 クラスタからコミュニティへの変換 4-7
 コミュニティの確認 4-8

インデックス



はじめに

対象読者

このマニュアルは、システム管理者、ネットワーク マネージャ、および GUI を通してスタンドアロンのネットワーク デバイスやデバイス グループを管理するその他のユーザを対象としています。ここでは、Network Assistant として知られる Cisco Network Assistant をソリューションとして紹介します。

目的

このマニュアルの目的は、Network Assistant の使用を開始するための情報をユーザに提供することです。マニュアルは次の章で構成されています。

概要 : Network Assistant の説明と特徴。

Network Assistant の機能 : Network Assistant によるデバイス管理およびネットワーク管理の簡素化。

Network Assistant のインストール、起動、接続 : Network Assistant のワークステーションへのインストール方法、起動方法、およびネットワーク デバイスへの接続方法。

コミュニティの計画と作成 : Network Assistant を使用したコミュニティの計画と作成の概念および手順。下位互換性のためにクラスタという概念がサポートされています。

資料の入手方法

Cisco の資料および付属の文書類は Cisco.com でご利用いただけます。また、Cisco のテクニカル サポート、およびその他の技術リソースは、さまざまな方法で入手することができます。ここでは、Cisco Systems からの技術情報の入手方法についてご説明いたします。

Cisco.com

Cisco 製品の最新資料は、次の URL でご覧いただけます。

<http://www.cisco.com/techsupport>

Cisco の Web サイトの URL は次の通りです。

<http://www.cisco.com>

各国語でご覧いただける国際的な Cisco の Web サイトも利用できます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

Product Documentation DVD

Product Documentation DVD は、製品マニュアルをポータブルなメディアに格納した包括的なライブラリです。この DVD を使用することにより、Cisco のハードウェアおよびソフトウェア製品のインストール、設定、コマンドガイドに関し、複数のバージョンを利用することができます。また、インターネットに接続しなくても、Cisco の Web サイト上の HTML の資料と同じ文書にアクセスすることができます。一部の製品については、PDF 形式の資料もご利用いただけます。

Product Documentation DVD は、一回単位で入手することも、または定期購読することもできます。Cisco.com 登録ユーザ（Cisco Direct Customers）は、次の URL から Product Documentation DVD（製品番号 DOC-DOCDVD= or DOC-DOCDVD=SUB）を発注することもできます。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

マニュアルの発注方法

Cisco.com 登録ユーザは、以下の URL の Cisco Marketplac 内の Product Documentation Store で、Cisco の製品資料を発注することができます。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

Cisco.com に登録していない場合は、午前 8 時から午後 5 時 (PDT) まで、電話で技術文書を発注することができます。電話番号は、米国およびカナダ国内 : 1 866 463-3487、その他 : 011 408 519-5055。また、電子メール (tech-doc-store-mkpl@external.cisco.com)、ファックスでの発注も可能です。ファックス番号は、米国およびカナダ国内 : 1 408 519-5001、その他 : 011 408 519-5001 となります。

マニュアルへのフィードバック

Cisco の技術文書について、評価を行い、フィードバックを送付することができます。Cisco.com の技術文書内に表示されるフィードバック フォームに記入してください。

また、お手元の文書の表紙裏に記載のレスポンスカード (ない場合もあります) や、その他の書面によって、Cisco 文書についてのコメントを提出することもできます。レスポンスカードをお使いでない場合は下記の住所をご利用ください。

Cisco Systems
Attn: Customer Document Ordering
170 West Tasman Drive
San Jose, CA 95134-9883

コメントをお待ちしております。

シスコ製品のセキュリティの概要

Cisco では、オンラインのセキュリティ脆弱性ポリシー ポータルを、次の URL で、無料で提供しています。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html

このサイトは、次の目的に利用できます。

- Cisco 製品のセキュリティ脆弱性を報告する。
- Cisco 製品に伴うセキュリティ事象についてサポートを受ける。
- シスコからのセキュリティ情報を受け取るために登録する。

Cisco 製品に関するセキュリティ勧告、注意事項および回答の最新のリストは、以下の URL でご利用いただけます。

<http://www.cisco.com/go/psirt>

セキュリティ勧告、注意事項および回答を、リアルタイムで確認したい場合は、Product Security Incident Response Team Really Simple Syndication (PSIRT RSS) feed を購読することもできます。PSIRT RSS feed の購読方法は以下の URL をご覧ください。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_psirt_rss_feed.html

Cisco 製品のセキュリティ問題の報告

Cisco は、安全な製品を提供するよう全力を尽くしています。製品のリリース前には社内でテストを実施し、すべての脆弱性を迅速に修正するよう努めています。万一、お客様が Cisco 製品の脆弱性を発見したと思われる場合は、次の PSIRT にご連絡ください。

- 緊急度の高い問題 - security-alert@cisco.com

緊急とは、システムがアクティブな攻撃を受けている状態、または至急の対応を要する重大なセキュリティ脆弱性が報告されている状態を言います。これに該当しない場合は、緊急度は低いものと見なされません。

緊急度の低い問題 - psirt@cisco.com

緊急の場合には、電話で PSIRT に連絡することもできます。

- 1 877 228-7302
- 1 408 525-6532



ヒント

Cisco に機密情報をお送りいただく際には、Pretty Good Privacy (PGP) または PGP と互換性のある製品を使用して情報を暗号化することをお奨めします。PSIRT は、PGP バージョン 2.x ~ 9.x と互換性のある暗号化情報に対応しています。

無効になった、または有効期限の切れた暗号鍵は絶対に使用しないでください。PSIRT に連絡する際に使用する正しい公開鍵には、次の URL の Security Vulnerability Policy ページの Contact Summary セッションからリンクできます。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html

このページのリンクからは、現在使用されている最新の PGP 鍵の ID にアクセスできます。

PGP をご使用でない場合は、機密情報を送信する前に上述の電子メールアドレスまたは電話にて PSIRT にお問い合わせの上、データを暗号化する方法を見付けてください。

テクニカル サポート

Cisco Technical Support では、評価の高い 24 時間体制のテクニカル サポートを提供しています。また、Cisco.com の Cisco Technical Support & Documentation Web サイトでは、広範囲にわたるオンラインでのサポート リソースを提供しています。さらに、Cisco との有効なサービス契約を結んでいる場合は、Cisco Technical Assistance Center (TAC) のエンジニアたちが、電話でのサポートも提供します。Cisco との有効なサービス契約を結んでいない場合は、リセラーにご連絡ください。

Cisco Technical Support & Documentation Web サイト

Cisco Technical Support Web サイトでは、オンラインで資料やツールを利用して、トラブルシューティングや Cisco 製品およびテクノロジーに関する技術上の問題の解決に役立てることができます。この Web サイトは、24 時間いつでも利用できます。次の URL にアクセスしてください：

<http://www.cisco.com/techsupport>

Technical Support & Documentation Web サイト上のツールにアクセスする際は、いずれも Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。有効なサービス契約をお持ちのお客様で、ユーザ ID およびパスワードをお持ちでない場合は、次の URL で登録してください：

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>



注

Web サイトやお電話でサービスをリクエストされる前に、Cisco Product Identification (CPI) ツールを使用して、製品のシリアル番号をご確認ください。CPI ツールへは、Documentation & Tools の下にある **Tools & Resources** リンクをクリックして、Cisco Technical Support & Documentation のサイトからアクセスできます。Alphabetical Index ドロップダウン リストから **Cisco Product Identification Tool** を選択するか、Alerts & RMAs の下にある **Cisco Product Identification Tool** リンクをクリックしてください。CPI ツールは、3 つの検索オプションを提供します：製品 ID またはモデル名によるもの、ツリー表示、および特定の製品に対する **show** コマンド出力のコピー & ペーストによるものです。検索結果には、シリアル番号のラベルの場所がハイライトされた製品の説明図が表示されます。テクニカル サポートにお問い合わせいただく前に、製品のシリアル番号のラベルを確認し、メモなどに控えておいてください。

Service Request の利用

オンラインの TAC Service Request ツールを使えば、S3 および S4 の問題について最も迅速にテクニカル サポートを受けられます。(S3 および S4 の問題とは、ネットワークの障害が軽微である場合、あるいは製品情報が必要な場合を意味します。) 状況をご説明いただくと、TAC Service

Request ツールが推奨する解決方法を提供します。推奨リソースで問題が解決しない場合も、Cisco のエンジニアにサービス リクエストが割り当てられます。TAC Service Request ツールは次の URL にあります：

<http://www.cisco.com/techsupport/servicerequest>

問題が S1 または S2 であるか、インターネットにアクセスできない場合は、電話で TAC にご連絡ください。(S1 または S2 の問題とは、運用中のネットワークがダウンした場合、あるいは重大な障害が発生した場合を意味します。) S1 および S2 の問題には Cisco の技術者がただちに対応し、業務を円滑に運営できるよう支援します。

電話によるサービスリクエストの開設は、次の電話番号をご利用ください。

アジア太平洋地区：+61 2 8446 7411 (オーストラリア：1 800 805 227)

EMEA: +32 2 704 55 55

USA: 1 800 553-2447

Cisco TAC の包括的な連絡先リストは、次の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/techsupport/contacts>

問題の重大度の定義

すべての問題を標準形式で報告するために、Cisco は問題の重大度を定義しました。

重大度 1 (S1) — 既存のネットワークがすべてダウンし、業務に致命的な損害が発生する場合。Cisco は 24 時間体制であらゆる手段を使用して問題の解決にあたります。

重大度 2 (S2) — ネットワークのパフォーマンスが著しく低下、または Cisco 製品のパフォーマンス低下により業務に重大な影響がある場合。Cisco は通常の業務時間内にフルタイムで問題の解決にあたります。

重大度 3 (S3) — ネットワークのパフォーマンスが低下しているが、ほとんどの業務運用が機能している場合。Cisco は通常の業務時間内に納得のできるレベルまでサービスの復旧を行います。

重大度 4 (S4) — Cisco 製品の機能、インストレーション、基本的なコンフィギュレーションについて、情報または支援が必要な場合。業務への影響がほとんどまたはまったくないものとします。

その他の広報物および情報の入手方法

Cisco 製品、テクノロジーおよびネットワークソリューションに関する情報は、オンラインまたは印刷物としてさまざまな形式で入手することができます。

- *Cisco Product Quick Reference Guide* は、流通関連のパートナーを通じて販売されている Cisco 製品に関する簡便な製品概要、主要な特徴、サンプルパート番号および簡潔な技術仕様を収録した、手元において役に立つ、コンパクトな参照ツールです。年に二回発行され、最新の Cisco 情報が盛り込まれます。Cisco Product Quick Reference Guide についての詳細、および発注は、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/guide>

- Cisco Marketplace では、さまざまな Cisco の書籍、参考資料、マニュアル、およびロゴ入り商品を提供しています。当社のショップ、Cisco Marketplace には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

- *Cisco Press* では、ネットワーク、トレーニング、認定関連の出版物を幅広く刊行しています。初心者にも上級者にも役立つ出版物を取り揃えています。Cisco Press の最新の出版情報などについては、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.ciscopress.com>

- *Packet* は、Cisco Systems が発行するテクニカルユーザ向けの雑誌で、インターネットやネットワークへの投資を最大限に活用するものです。*Packet* は毎号、最近の業界動向や、テクノロジーの進展、および Cisco 製品やソリューションに関する記事をはじめ、ネットワークの配置やトラブルシューティングのヒント、設定例、お客様の事例研究、認定やトレーニングに関する情報、および多数の詳細なオンライン リソースへのリンクが盛り込まれています。*Packet* は、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/packet>

- *iQ Magazine* は、テクノロジーを使った収益の増加、ビジネス効率の向上およびサービスの拡大を図る方法を学ぶことを目的とした、Cisco Systems が発行する成長企業向けの季刊誌です。この季刊誌では、実

際の事例研究や事業戦略を用いて、テクノロジーの投資に関して読者が正しい判断を行う手助けをします。iQ Magazine へは、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/iqmagazine>

または、次の URL からオンライン版をご覧いただくことができます。

<http://ciscoiq.texterity.com/ciscoiq/sample/>

- *Internet Protocol Journal* は、インターネットおよびイントラネットの設計、開発、運用を担当するエンジニア向けに、Cisco Systems が発行する季刊誌です。Internet Protocol Journal は、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/ipj>

- Cisco Systems のネットワーク製品およびカスタマーサポートサービスは、次の URL からお求めいただけます。

<http://www.cisco.com/en/US/products/index.html>

- Networking Professionals Connection は、ネットワーク技術者が Web サイト上で、Cisco の技術者や他のネットワーク技術者とネットワーク製品やネットワーク技術について質問やアドバイス、情報を交換する Web サイトです。討議に参加するには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/discuss/networking>

- Cisco の世界水準のネットワーク関連のトレーニングもご利用いただけます。最新の情報については、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/en/US/learning/index.html>



Network Assistant とは？

Network Assistant は、スタンドアロンのデバイスやデバイス グループ（コミュニティおよびクラスタ）をイントラネット上の任意の場所から管理できるアプリケーションです。Network Assistant が備えている GUI により、コマンドライン インターフェイス（CLI）を使用することなく、さまざまな設定タスクを実行できます。VLAN、Quality of Service（QoS）、インベントリーと統計情報のレポート、リンクとデバイスのモニタリング、ソフトウェアのアップグレード、およびその他数多くのネットワーク機能に関する操作を複数のデバイスやポートに対して同時に適用できます。

Network Assistant では、デバイス グループを次の 2 つの方法でグラフィカルに表示できます。

- トポロジ ビュー：コミュニティまたはクラスタ内のデバイス、またはコミュニティまたはクラスタに追加するのに適格なデバイス、デバイス間のリンク情報、および接続されているその他のクラスタを表示します
- 前面パネル ビュー：デバイスのステータスをリアルタイムに監視し、さまざまな設定タスクを実行できます。このビューでのデバイスおよびポート LED は、実際のデバイスやポート LED と外観が似ています。

コミュニティとは、最大 20 の接続されたネットワーク デバイスを含むデバイス グループです。Network Assistant では、Cisco Discovery Protocol（CDP；シスコ検出プロトコル）による自動検出機能を使用して、適切なネットワーク デバイスを検出し、コミュニティに追加できます。コミュニティに追加されたネットワーク デバイスは、メンバー デバイスになります。Network Assistant では、各メンバーを個別の基準で管理、設定、監視することができます。したがって、各メンバーには IP アドレスが割り当てられている必要があります。

ルータ、スイッチ、アクセス ポイントなど、IP アドレスを持つ Cisco ネットワーク デバイスの大部分は、コミュニティに追加できます。コミュニティに追加可能なネットワーク デバイスの具体的なリストについては、リリース ノートを参照してください。コミュニティに関する制限については、[4 ~ 2 ページの、「コミュニティに関する制限」](#)を参照してください。

コミュニティを作成する主な理由は、コミュニティでは、Cisco のクラスタ対応デバイスだけでなくクラスタ非対応デバイスを、デバイスの物理的位置およびデバイスにインストールされているソフトウェアに関係なく、同じ論理グループで管理できるという点にあります。Network Assistant では、複数のコミュニティの作成、変更、削除、および管理をサポートしています。

クラスタとは、最大 16 の接続されたネットワーク デバイスを含むデバイスグループで、これらのデバイスはクラスタ対応の Catalyst デバイスである必要があります。これらのデバイスは 1 つのクラスタに排他的に所属し、他のクラスタには参加しません。コマンド デバイスになるデバイスには、IP アドレスを割り当てます。コマンド デバイスの IP アドレスは、当該コマンド デバイスおよびそのメンバー デバイスの設定、管理、監視のために Network Assistant で使用する単一のアクセス ポイントになります。

コミュニティには、クラスタと比較して、次のような利点があります。

- コミュニティはルータ、アクセス ポイント、およびスイッチを管理できます。クラスタが管理できるのはスイッチだけです。
- コミュニティに含めることのできるデバイスの最大数は 20 ですが、クラスタでの最大数は 16 です。
- Network Assistant では、コミュニティ内のすべてのメンバーと安全に通信できます。クラスタでは、Network Assistant はコマンド デバイスを介してメンバー デバイスと通信できますが、通信のセキュリティが確保されるのは Network Assistant とコマンド デバイスの間のみです。コマンド デバイスからメンバー デバイスへの通信のセキュリティは確保されません。
- あるコミュニティ メンバーに障害が発生しても、Network Assistant は他のメンバーを引き続き管理できます。一方、クラスタ コマンド デバイスに障害が発生した場合、Network Assistant は、クラスタ スタンバイ デバイスが設定されていない限り、クラスタの他のメンバーを管理できません。

- メンバーの位置、およびメンバーの相互接続の方法について、コミュニティにはクラスタほど制約事項がありません。クラスタメンバーに関する制約事項の詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。
- 候補デバイスで CDP がイネーブルになっていない場合でも、コミュニティを作成し、デバイスを手動で追加することができます。クラスタは、すべての候補デバイスで CDP が有効になっていない限り、作成できません。

Network Assistant は、デバイス グループについて、前面パネル ビュー および トポロジビューの機能を備えています。詳細については、[第 2 章の「Network Assistant の機能」](#)を参照してください。

コミュニティの設定については、[第 4 章の「コミュニティの計画と作成」](#)を参照してください。

デバイス クラスタの設定については、『[Getting Started with Cisco Network Assistant document, version 1.0](#)』の第 4 章「Planning and Creating Clusters (クラスタの計画と作成)」を参照してください。

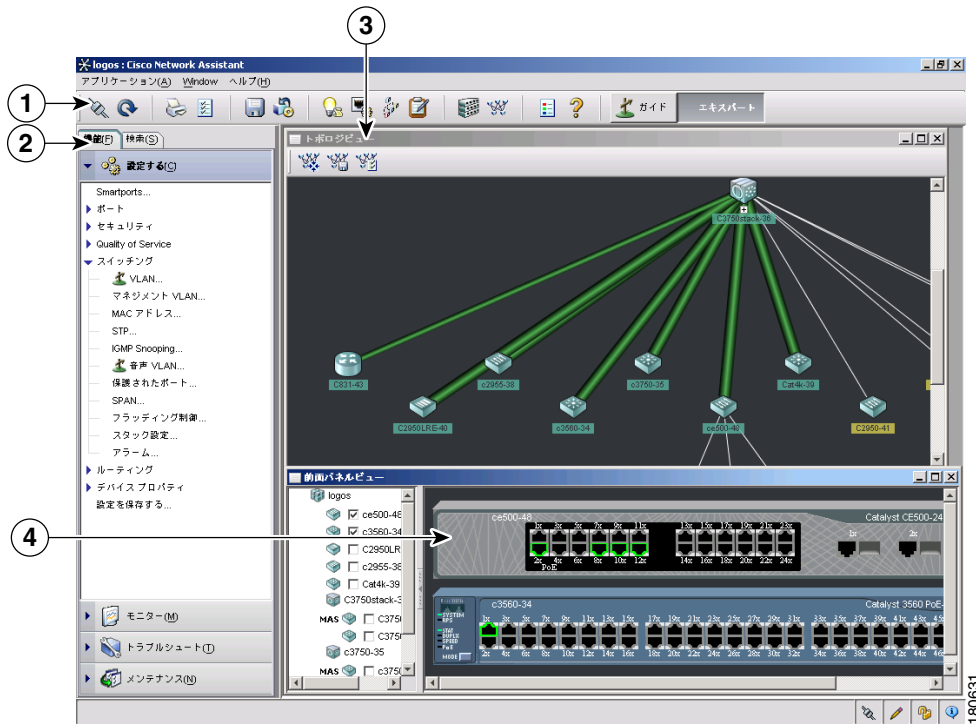


第 2 章

Network Assistant の機能

Network Assistant を使用すると、GUI、ネットワーク デバイス 設定用の複数のモード、2つのアクセス レベル、包括的なオンライン ヘルプにより、コミュニティまたはクラスタを用いたデバイス グループ管理が容易になります。

図 2-1 Network Assistant の GUI



1	ツールバー	3	トポロジビュー
2	機能バー	4	前面パネルビュー

以降の項で Network Assistant の機能について説明します。

前面パネル ビュー

Network Assistant がコミュニティまたはクラスタに接続している場合、ツールバーにある 前面パネルアイコン をクリックするか、機能バーから **ビュー > 前面パネル** を選択すると、前面パネル ビュー が表示されます。ここでは、デバイスの前面パネルのイメージを確認できます。デバイスがいずれかのコミュニティに属している場合、そのコミュニティの前面パネル ビュー に前回表示されたときに選択されたデバイスがすべて表示されます。デバイスがクラスタを制御している場合は、ビューが前回表示されたときに選択されたクラスタ メンバーが表示されます。

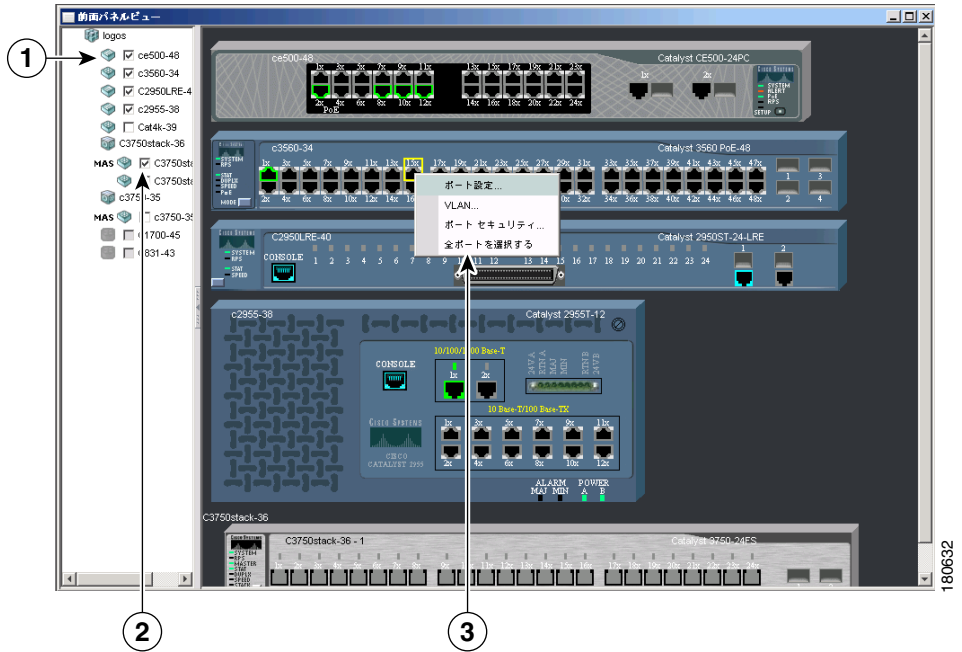
前面パネル ビュー では次の操作を実行できます。

- 表示されているデバイスをドラッグして再配置する。
- デバイスを選択して設定する。
- ポートを右クリックして設定する。
- 同じデバイスまたは異なるデバイスから複数のポートを選択し、それらのポートを同時に設定する。

図 2-2 は、Catalyst 3560、2955、2924、および 3750 のスイッチがメンバーデバイスであるコミュニティを示しています。

■ 前面パネルビュー

図 2-2 前面パネルビューとポートのポップアップ ウィンドウ



1	メンバー デバイス	3	設定ポップアップ ウィンドウ
2	表示するデバイスを選択するためのチェックボックス		

トポロジ ビュー

Network Assistant がコミュニティまたはクラスタに接続している場合、デフォルトではトポロジビューが表示されます。このデフォルトを変更すると、ツールバーにあるトポロジビューのアイコンをクリックするか、ビュー>トポロジを選択することにより、Network Assistant がデバイスに接続しているときにトポロジビューを表示できます。



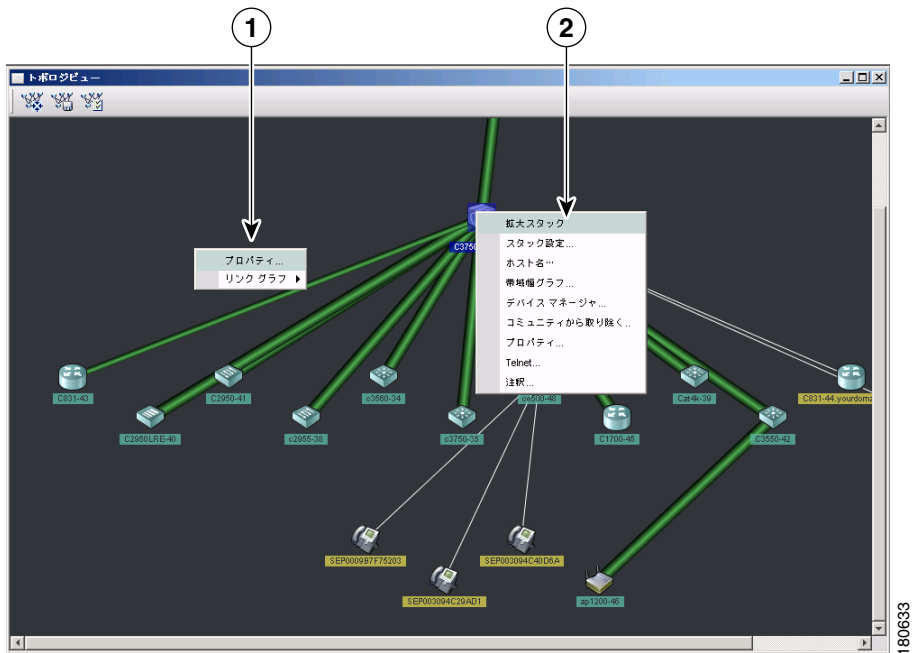
注

アプリケーション>環境設定>ネットワーク接続時に「前面パネルビューを表示する」を選択することにより、デフォルトで前面パネルビューも表示されるよう Network Assistant の環境設定を変更できます。Network Assistant でトポロジビューをデフォルトで表示しないようにするには、ネットワーク接続時にトポロジビューを表示するの選択を解除します。

トポロジビューには、コミュニティまたはクラスタにおける各デバイスの接続の状態が表示されます。コミュニティを管理している場合、VLAN リンクを強調表示して見ることもできます。コミュニティまたはクラスタの隣接デバイス メンバーにすることもできますし、メンバーから削除することもできます。

図 2-3 に示すトポロジビューの例では、コミュニティのメンバーおよび Network Assistant によって検出された隣接デバイスが表示されています。デバイスまたはリンクのアイコンを右クリックすると、ポップアップ ウィンドウが表示されます。

図 2-3 トポロジビューとデバイスのポップアップウィンドウ



1	リンクのポップアップウィンドウ	2	デバイスのポップアップウィンドウ
---	-----------------	---	------------------



注

コミュニティを管理している場合、トポロジビューには当該コミュニティ内のデバイスがすべて表示されます。別のコミュニティを表示するには、そのコミュニティに接続する必要があります。

クラスタを管理している場合、トポロジビューに表示されるのは、アクセス先の特定のコマンド デバイスまたはメンバー デバイスのクラスタおよびネットワーク ネイバーフッドのみです。別のクラスタを表示するには、そのクラスタのコマンド デバイスまたはメンバー デバイスにアクセスする必要があります。

180633

メニューバー、ツールバー、および機能バー

設定とモニタリングのオプションは、メニューバー、ツールバー、および機能バーから使用できます。メニューバーには、コミュニティおよび Network Assistant 自体を設定するためのオプションがあります。機能バーにあるオプションは、デバイス、ポート、VLAN の設定、モニタリング、レポートの取得に使用します。

メニューバー

メニューバーには、Network Assistant の管理、ウィンドウ間の移動、オンラインヘルプへのアクセスに使用する次のオプションが用意されています。

- アプリケーション：印刷オプションの選択、対話モードの選択、ユーザ環境設定の設定、Network Assistant アップデートの検索とインストール、機能バーの表示と非表示の切り替え、およびコミュニティの変更を行います。
- ウィンドウ：開いている Network Assistant ウィンドウに移動します。
- ヘルプ：オンラインヘルプを起動します。

■ メニューバー、ツールバー、および機能バー

ツールバー

ツールバーには、頻繁に使用する設定オプション、および凡例やオンラインヘルプなどの情報ウィンドウのアイコンが配置されています。表 2-1 は、ツールバーのオプションを、ツールバーの最も左側にあるものから順に一覧で表示しています。

表 2-1 / ツールバーのアイコン







ツールバーのオプション	アイコン	機能
接続		Network Assistant をコミュニティまたはクラスタに接続します。
更新		ビューを最新のステータスに更新します。
印刷		Network Assistant ウィンドウまたはヘルプのトピックを印刷します。
環境設定 ¹		Network Assistant の表示プロパティの設定、Network Assistant の接続時に表示するビューの選択、および Network Assistant によるアップデートの検索頻度の選択を行います。
設定の保存 ²		デバイスの設定をお使いの PC に保存します。
ソフトウェアアップグレード ²		1 つまたは複数のデバイスをアップグレードします。
Smartports		デバイスの Smartports 設定を表示または設定します。
ポート設定 ¹		デバイス上のポート パラメータを表示または設定します。
VLAN ¹		VLAN メンバーシップの表示、VLAN へのポートの割り当て、および管理モードの変更を行います。

表 2-1 / ツールバーのアイコン (続き)

ツールバーのオプション	アイコン	機能
インベントリ		デバイス タイプ、ソフトウェア バージョン、IP アドレス、およびデバイスに関するその他の情報を表示します。
前面パネル		前面パネル ビュー を表示します。
トポロジ		トポロジ ビュー を表示します。
凡例		アイコン、ラベル、リンクを説明する凡例を表示します。
アクティブ ウィンドウ用のヘルプ		アクティブな、開いているウィンドウに関するヘルプ トピックを表示します。アクティブなウィンドウで ヘルプ をクリックするか、F1 キーを押すことによっても、ヘルプ を表示できます。

1. 読み取り専用モードでは利用できません。読み取り専用および読み / 書きアクセス モードについての詳細については、2 ~ 14 ページの、「特権レベル」セクションを参照してください。
2. このメニューのオプションの中には、読み取り専用モードでは利用できないものもあります。

機能バー

機能バーには、コミュニティまたはクラスタにあるデバイスで使用可能なネットワーク機能が表示されます。デフォルトでは、機能バーは標準モードです。このモードでは、機能バーは常に表示されており、ユーザがその幅を調整できます。オートハイド モードになっている場合、機能バーは、ユーザが Network Assistant の作業スペースの左端にカーソルを移動したときのみ表示されます。

- 機能バーを標準モードで表示するには、**アプリケーション > 機能バー** をクリックし、**標準モード** を選択します。
- 機能バーを非表示にするには、**アプリケーション > 機能バー** をクリックし、**オートハイド モード** を選択します。

■ メニューバー、ツールバー、および機能バー

図 2-4 は、機能バーを示しています。

図 2-4 機能バー



1	機能 タブ	2	検索タブ
---	-------	---	------

機能タブでは、各機能がメニューの下にグループ化されています。メニュー項目をクリックすると、その機能の設定ウィンドウが表示されます。検索タブでは、検索テキストを入力して **検索** をクリックし、検索結果から選択することにより、設定ウィンドウを起動できます

機能が使用可能かどうかは、アクセス モードに依存します。一部の機能は読み取り専用モードで使用できません。アクセス モードが Network Assistant に与える影響の詳細については、2 ~ 14 ページの、「特権レベル」セクションを参照してください。

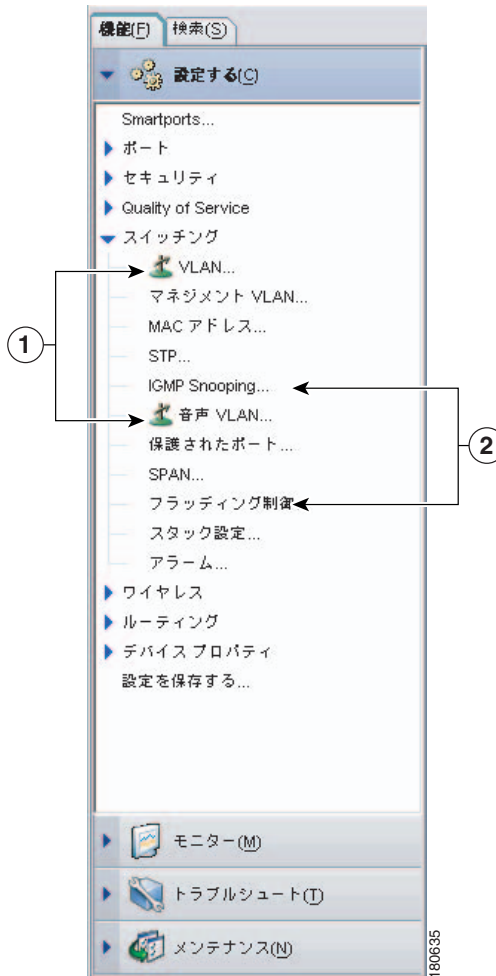
対話モード

Network Assistant の GUI との対話に使用するモードには、ガイド モードとエキスパート モードの 2 つがあります。ガイド モードでは、ヘルプ情報とともに機能オプションが 1 ステップずつ表示されます。エキスパート モードでは、機能を設定するためのオプションがすべて 1 つのウィンドウに表示されます。ヘルプを表示するにはウィンドウ内で「ヘルプ」をクリックします。

ガイド モード

Network Assistant はデフォルトでガイド モードです。機能バーで道しるべの役目を果たすアイコン付きで表示されている機能（図 2-5 を参照）を選択した場合、一連の設定ステップが表示されます。これがガイド モードです。このアイコンが付いていない機能を選択した場合は、設定ウィンドウが表示されます。これがエキスパート モードです。

図 2-5 ガイド モードの標識



1	ガイドモードのアイコン	2	エキスパートモードのみをサポートするメニュー項目
---	-------------	---	--------------------------

ガイドモードは、スイッチのアクセスレベルが読み取り専用の場合は使用できません読み取り専用モードについての詳細については、[2 ~ 14 ページの、「特権レベル」セクション](#)を参照してください。

エキスパート モード

すべての機能に対して設定ウィンドウを表示したい場合は、アプリケーションメニューで「エキスパート」を選択するか、ツールバーで「エキスパート」をクリックします。機能バーに道しるべのアイコン付きで表示されている機能であっても、エキスパートモードで表示されます。ガイドモードでの表示に変更するには、アプリケーションメニューで「ガイド」を選択するか、ツールバーで「ガイド」をクリックします。

ガイドモードの機能をエキスパートモードで起動するには、「エキスパート」を選択してから機能を選択します。

ウィザード

すべてのウィザードは、機能バー上の各名称が付けられています。ウィザードでは、ガイドモードと同様に、特定の設定タスクを 1 ステップずつ順に実行できます。ただしガイドモードと異なり、ウィザードでは、ユーザはすべての機能オプションについて情報を入力するよう要求されるわけではありません。要求されるのは最小限の情報だけで、残りのオプションについてはデフォルトの設定値が使用され、デフォルトの設定が実行されます。

ウィザードは読み取り専用アクセスレベルでは使用できません。読み取り専用モードについての詳細については、「[特権レベル](#)」セクションを参照してください。

Smartports アドバイザー

Network Assistant は、Smartports を使用して設定していないことを検出すると、イベント通知ウィンドウ内で、Smartports の使用を推奨します。このウィンドウから、Smartports アドバイザーを開始し、デバイスの接続を設定することができます。Smartports アドバイザーは、Smartports を使用して、Cisco 推奨の設定、つまりルールを適用し、リンク先のデバイスとの通信を最適化するようポートを設定するかどうかを尋ねます。

■ 特権レベル

Smartports のルールが適用済みであれば必ず、デバイスの接続は最適化されています。ルールを適用することにより、必須のセキュリティ、利用可能性、Quality of Service (QoS)、および管理性など、デバイスの機能の設定が容易になります。

Smartports アドバイザーには、接続しているデバイスの前面パネルが表示されます。前面パネルでは、Smartports ルールを適用済みのポートと、Smartports ルールを適用可能なポートとを表示します。

Smartports アドバイザーから推奨されるルールを受け入れ、最適化を行っていないポート接続にルールを適用したら、VLAN 情報を入力します。Smartports アドバイザーの詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

特権レベル

Network Assistant には、設定オプションに対するアクセス タイプとして、読み取り書き込み、読み取り専用の 2 つがあります。ユーザのアクセス タイプは、割り当てられている特権レベル (1 ~ 15) によって決まります。特権レベルとアクセス タイプは、次のように対応しています。

- レベル 15 : 読み取り書き込みアクセス。
- レベル 1 ~ 14 : 読み取り専用アクセス。読み取り専用アクセスの場合、デバイス、コミュニティ、またはクラスタの設定を変更するためのオプションはすべて、Network Assistant ウィンドウ、機能バー、ツールバー、およびポップアップ ウィンドウ内で表示されません。つまり、ユーザはこれらの項目によって起動されたウィンドウ内に表示されている設定を変更することはできません。

デフォルトでは、Network Assistant は、特権レベル 15 でログさせようとしています。ただし、通常この手続きには、適切なユーザ名とパスワードによる認証の通過が求められます。一般に、下位のレベルではこの要求は課せられません。



注

TACACS+ または RADIUS サーバ経由で Network Assistant にアクセスする場合は、特権レベル 15 が必要です。

Network Assistant アップデートの検索

Network Assistant では、新しいパッケージが入手可能かどうか Cisco.com を検索できます。検索を行うには、次のいずれかの操作を実行します。

- アプリケーション>環境設定 を選択し、自動検索を毎週または毎月行うよう環境設定 ウィンドウで設定する。
- アプリケーション>アプリケーション アップデート を選択し、アップデートの検索を直ちに開始する。

アップデートが検出された場合、Network Assistant からインストールできません。

オンライン ヘルプ

Network Assistant には、設定やモニタリングのタスクについて説明する包括的なオンライン ヘルプが用意されています。

ヘルプ トピックの情報はデバイスによって異なる場合があります。この場合、ヘルプ ウィンドウの右側の枠にトピックのすべてのバージョンが表示され、対応するデバイスのホスト名がそれぞれにラベル付けされています。

オンライン ヘルプには次の機能があります。

- ネットワーキング機能の基本情報を提供する概念ヘルプ
- タスクの実行手順を説明するウィンドウ ヘルプ
- オンライン ヘルプのトピックの索引
- オンライン ヘルプで使用されている用語の用語集

オンライン ヘルプに関してフィードバックがあれば、Cisco にお送りいただけます。ヘルプ ウィンドウで **フィードバック** をクリックすると、オンライン フォームが表示されます。フォームにコメントを入力したら、送信 をクリックして Cisco Systems Inc. 宛てに送信してください。ご意見をお待ちしております。

■ オンライン ヘルプ



Network Assistant のインストール、 起動、および接続

この章では、Network Assistant のインストールの要件、インストール方法、起動方法、およびデバイスまたは既存のコミュニティへの接続方法について説明します。

インストールの要件

Network Assistant をインストールする PC は、次の最小要件を満たしている必要があります。

- プロセッサ速度 : 1 GHz
- DRAM : 最小 256 MB、良好なパフォーマンスを維持するために 512 MB を推奨
- ハードディスクの空き容量 : アプリケーション自体に必要な容量は 70 MB、200 MB を推奨
- 色数 : 65536
- 解像度 : 1024 x 768
- フォント サイズ : 小

Network Assistant は、次のオペレーティング システムでサポートされます。

- Windows XP Service Pack 1 以降
- Windows 2000 Service Pack 3 以降

Network Assistant のインストール

Network Assistant を PC にインストールするには、次の手順に従います。

1. 次の web サイトにアクセスします：
<http://www.cisco.com/go/NetworkAssistant>.
Cisco.com 登録ユーザである必要がありますが、その他のアクセス権は必要ありません。
2. Network Assistant のインストーラ
cna-windows-k9-installer-4-1-ja..exe を見つけます。
3. Network Assistant のインストーラをダウンロードし、実行します
(Web サイトから直接実行するという方法がブラウザに提示された場合は、その方法を選択できます)。

Network Assistant は無料です。ダウンロード、インストール、使用のいずれにも料金はかかりません。

インストーラを実行するときは、表示されるインストラクションに従います。最後の画面で「完了」をクリックし、Network Assistant のインストールを終了します。

Network Assistant の起動

Network Assistant をインストールすると、デスクトップに Network Assistant のアイコンが、スタート > プログラムの下に Network Assistant のエントリが、インストール ディレクトリに Network Assistant の実行ファイルがそれぞれ作成されます。このいずれかをクリックすると、Network Assistant の GUI の一部と 接続ウィンドウが表示されます。

非接続モードでは、Network Assistant はデバイスまたはコミュニティに接続されず、スタンドアロン デバイス、コミュニティ、またはクラスタのコマンド デバイスを管理できません。メニュー バーおよびツールバーでサポートされるのは、Network Assistant 自体をカスタマイズするためのタスクのみです。通常はデバイスに関する機能を表示する機能バーにも、何も表示されません。

言語設定オプション

日本語で Network Assistant GUI をご覧になる場合には、Windows の東アジア言語用ファイルがインストールされていることを確認してください。次に掲げるのは Windows XP 用の手順ですが、Windows の各バージョンの手順はこれに類似しています。

1. コントロール パネル を開く。
2. 「日付、時刻、地域と言語のオプション」を選択する。
3. 「地域と言語のオプション」のアイコンをクリックする。
4. 「地域と言語のオプション」ウィンドウ内で、「言語」のタブをクリックする。
5. 「東アジア言語のファイルをインストールする」にチェックマークが入っていることを確認する。
6. OK または 適用 をクリックする。

コミュニティまたはクラスタへの Network Assistant の接続

Network Assistant をデバイスに接続するには、接続ウィンドウ (図 3-1) を使用します。ここで、接続先デバイスの IP アドレスを入力します。既存のコミュニティに接続する場合は、プルダウン メニューから名前を選択します。既存のクラスタに接続する場合は、IP アドレスを選択します。次の設定を行うには、「オプション」をクリックします。

- クラスタのコマンド デバイスまたはスタンドアロンのデバイスとの通信に HTTP ではなく HTTPS (セキュア HTTP) を使用する。
- クラスタのコマンド デバイスまたはスタンドアロンのデバイスで 80 以外の HTTP ポートを使用する。
- 読み取り専用アクセスで接続する。



注

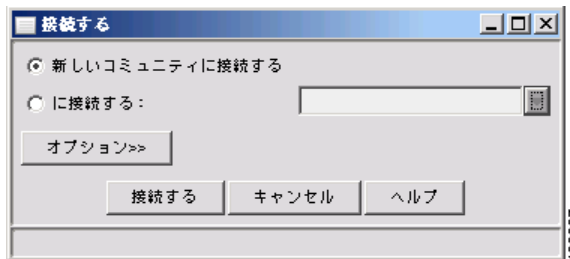
コミュニティ内の HTTPS および HTTP オプションについては、X ページの「通信プロトコル」を参照してください。4 ~ 5 ページの、「通信プロトコル」。

■ コミュニティまたはクラスタへの Network Assistant の接続

出荷時のデフォルトでは、Catalyst 4500 シリーズ スイッチは HTTPS および HTTPS はディセーブルになっていますので、必要に応じて有効にする必要があります。HTTPS v3.0 は、Cisco IOS 12.2(25)SG 暗号化バージョン以降でサポートされています。

「新しいコミュニティへの接続」オプションを使用してコミュニティを作成する方法については、4～6 ページの、「コミュニティの作成」を参照してください。接続をクリックすると、コミュニティに直接接続されるか、またはユーザ名とパスワードの入力を要求された後に接続されます。クラスタに接続する場合は、クラスタをコミュニティに変換するかどうかの確認を求められます。クラスタをコミュニティに変換する方法の詳細については、4～7 ページの、「クラスタからコミュニティへの変換」セクションを参照してください。

図 3-1 接続 ウィンドウ



接続が確立されると、Network Assistant のウィンドウは接続モードになります。ツールバーにはデバイスの機能を表すアイコンが追加されます。同様に機能バーにも、Network Assistant の管理対象デバイスの機能を示すメニューが表示されます。

Network Assistant のアクセス モード

管理対象としてコミュニティを選択するときは、アクセス モードおよびアクセス レベルを設定できます。コミュニティに接続する前にアクセス モードを設定しない場合、Network Assistant の機能により、デフォルトの読み書きアクセス モードがコミュニティ内のすべてのデバイスに適用されます。

イベント通知

Network Assistant は、ステータス バーとトポロジ ビューのデバイスの下に、クリックできるイベント アイコンを示し、検出したイベントを通知します。イベント アイコンをクリックしウィンドウを開くと、イベントが説明され、可能な場合には必要なアクションを取るためのウィンドウに移動できるようになっています。

■ コミュニティまたはクラスタへの Network Assistant の接続



第 4 章

コミュニティの計画と作成

この章では、Network Assistant を使用したコミュニティの計画と作成の概念および手順を説明します。Network Assistant を使用したコミュニティの設定の詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

コミュニティの計画

この項では、コミュニティを作成する前に理解しておくべきガイドライン、要件、および注意事項を説明します。

候補とメンバーの特性

「候補」とは、IP アドレスを持っているネットワーク デバイスのうち、コミュニティにまだ追加されていないものを指します。メンバーは、すでにコミュニティに追加されているネットワーク デバイスです。

コミュニティに参加するには、候補は次の要件を満たしている必要があります。

- IP アドレスを持っている。
- HTTP または HTTPS がデフォルト ポートでイネーブルになっている。



注

クラスタ メンバーはコミュニティに追加できますが、クラスタは追加できません。クラスタ メンバーは個別に追加できます。

クラスタ コマンド デバイスをコミュニティに追加しても、そのクラスタの他のメンバーは自動的に追加されません。クラスタ メンバーを管理するには、メンバーを個別にコミュニティに追加する必要があります。

Catalyst 3750 スイッチのスタック マスターがコミュニティに追加されると、個々のスタック メンバーは自動的にコミュニティに追加されます。これは、スタック メンバーが「コミュニティの変更」ウィンドウまたは 探索 ウィンドウに表示されない場合でも同様です。ただし、コミュニティに接続すると、これらのスタック メンバーは前面パネル ビューおよび トポロジ ビュー に表示されます。

コミュニティに関する制限

1 つのコミュニティ内の Catalyst スイッチ、Cisco アクセスルータ、および PIX ファイアウォールの合計は 20 を超えることはできません。

各デバイス タイプに対して、次のような個別のリミットがあります。

- 非モジュラ式 Catalyst スイッチ : 16
- モジュラ式 Catalyst スイッチ : 4
- Cisco アクセス ルータ : 2
- PIX ファイアウォール : 2

Cisco Aironet アクセス ポイントの数にリミットはありません。

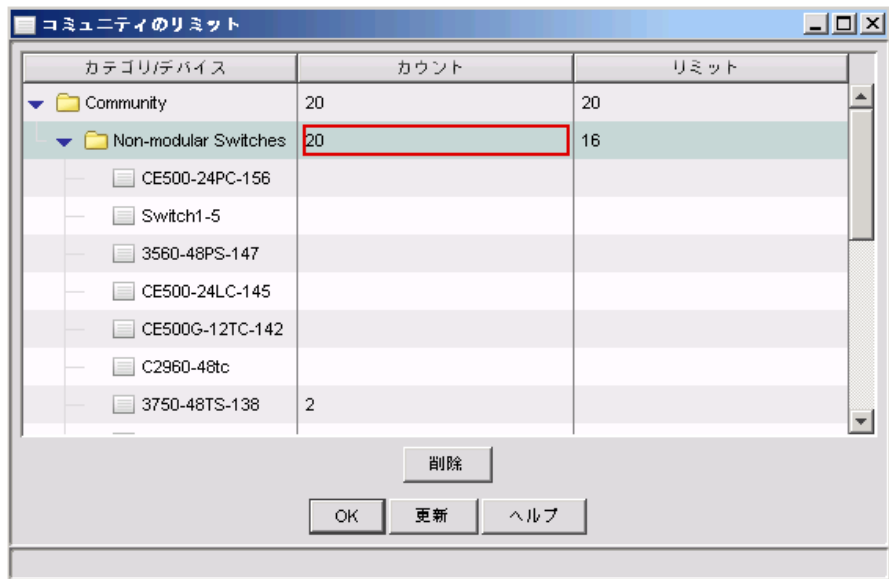


注

Catalyst 3750 スイッチ スタックの複数のデバイスが単一のスイッチとして機能している場合でも、デバイス内では個別のスイッチとしてカウントされ、デバイスの合計と個別の両方の制限を受けます。

コミュニティを作成、またはデバイスをコミュニティに追加する場合は、デバイスの合計は 20 を超えることはできません。個別のデバイスの数の制限は、コミュニティに接続する場合に執行されます。いずれかのデバイス タイプで許容最大数を超えている場合、[図 4-1](#) のようなウィンドウが表示されます。コミュニティを管理するには、まず、許容最大数以下になるように当該タイプのデバイスを削除する必要があります。

図 4-1 コミュニティ リミット ウィンドウ



Network Assistant が管理できるコミュニティ数にリミットはありません。

候補とメンバーの自動検出

開始デバイスの IP アドレス、HTTPS プロトコルと HTTP プロトコルのポート番号など、Network Assistant では CDP を使用して、開始デバイスと隣接する（CDP ホップ数が 4 までの範囲にある）コミュニティ候補のリストを作成します。ネットワークおよび VLAN に有効な IP アドレスがある限り、多数のネットワークや VLAN の中から候補デバイスとメンバー デバイスを検出できます。検出対象となるためにネットワーク デバイスが満たす必要のある要件のリストについては、4 ~ 1 ページの、「[候補とメンバーの特性](#)」セクションを参照してください。



注

候補、メンバー、または Network Assistant による検出の対象となるすべてのネットワーク デバイスにおいて、CDP を無効にしないでください。

検出されたデバイスのリストを必要に応じて編集し、デバイスをコミュニティに追加します。Network Assistant がネットワーク デバイスの検出に失敗した場合は、ユーザは手動でデバイスを追加できます。

検出されたデバイスをコミュニティに追加する方法、またはデバイスをコミュニティに手動で追加する方法については、[4～7 ページの、「手動によるメンバーの追加」](#)セクションを参照してください。

コミュニティ名

コミュニティを作成したら、名前を割り当てる必要があります。名前には最大 64 文字の英数字を使用します。大文字と小文字の区別は識別されません。



注

クラスタとコミュニティとで同じ名前を使用している場合に接続ウィンドウでその名前を選択すると、Network Assistant はコミュニティの方に接続します。

ホスト名

コミュニティ メンバーに対してユーザがホスト名を割り当てる必要はありません。また、Network Assistant によってデフォルトでホスト名が割り当てられることもありません。ただし、Cisco IOS は、ホスト名のないスイッチには「Switch」というホスト名を割り当てます。したがって、混乱を避けるためにスイッチにホスト名を割り当てるのは良い方法です。

パスワード

コミュニティに接続すると、そのコミュニティの各メンバーにすでに割り当てられている一意のパスワードを入力するよう求められます。Network Assistant では、これらのパスワードを使用して他のデバイスへの接続を試みます。パスワードの入力を求められるのは、前回入力したパスワードがデバイスで使用できない場合のみです。

たとえば、コミュニティに 10 のメンバーがある場合を考えます。そのうち 5 メンバーが 1 つのパスワードを共有していて、残りの 5 メンバーで別の 1 つのパスワードを共有しているとします。この場合、それぞれを 1 回ずつ、合計 2 回パスワードを入力するように求められます。Network Assistant では、パスワードは PC に保存されません。したがって、コミュニティへの接続を試みるたびに、パスワードの入力を求められます。

通信プロトコル

Network Assistant では、コミュニティ メンバーとの通信に HTTPS および HTTP を使用します。CDP を使用して隣接デバイスを検出する場合、およびデバイスを手動で追加する場合のいずれにおいても、最初は HTTPS による接続を試みます。失敗した場合も再び HTTP を試行します。

HTTPS ポートは 443 に固定されており、HTTP ポートはデフォルトで 80 に設定されています。コミュニティを作成する際には、別の HTTP ポートを指定できます。その後は、HTTP ポート ウィンドウを使用して、HTTP ポートを変更します。HTTPS と HTTP のポート設定はいずれも、同一コミュニティのメンバーすべてで同じである必要があります。

コミュニティの情報

Network Assistant では、IP アドレス、ホスト名、通信プロトコルなど、個々のデバイスの情報がローカル PC にすべて保存されます。コミュニティへの接続時には、ローカルに保存されたデータによってメンバー デバイスの再検出が行われます。

別の PC を使用して既存のコミュニティを管理しようとしても、メンバー デバイスの情報はいずれも使用できません。そのコミュニティを再度作成し、同じメンバー デバイスを追加する必要があります。

コミュニティの作成

コミュニティを作成する方法には、次の 3 つがあります。

- コミュニティに追加可能な候補を検出する
- デバイスを手動で追加する
- クラスタ変換ウィザードを使用してクラスタをコミュニティに変換する。

また、デバイスがコミュニティに適切に含まれていることを確認する必要があります。ここでは、これらのタスクを実行する方法を説明します。

デバイスの検出と追加

候補デバイスのリストを作成し、デバイスをコミュニティに追加するには、次の手順に従います。

1. Network Assistant を起動し、接続 ウィンドウで「**新しいコミュニティに接続する**」を選択します。**接続** をクリックします。
2. 「コミュニティの作成」ウィンドウで、コミュニティの名前を入力します。
3. HTTP ポートをデフォルトの 80 以外に設定する場合は **さらに詳しく** ボタンをクリックします。使用する HTTP ポート番号を入力します。**OK** をクリックします。
4. 開始デバイスの IP アドレスを入力し、「**近隣を探索する**」をクリックします。
5. デバイス検索 リストで、削除したい候補デバイスを選択します。
 - a. 複数の候補を削除するには、**Ctrl** キーを押しながらデバイスを選択していくか、**Shift** キーを押しながら選択範囲内の最初のデバイスと最後のデバイスを選択します。
 - b. **削除** をクリックします。
6. リスト内の残りのデバイスをコミュニティに追加するには、「**すべてをコミュニティに追加**」をクリックします。

手動によるメンバーの追加

Network Assistant でデバイスを手動でコミュニティに追加するには、2 つの方法を使用できます。

1. 「コミュニティの作成」ウィンドウで、追加するデバイスの IP アドレスを入力します。
2. 「コミュニティに追加」をクリックします。

デバイスを手動で追加するための 2 番目の方法は、トポロジ ビュー を使用します

1. トポロジ ビュー が表示されない場合は、機能バーから **ビュー** > **トポロジ** を選択します。
2. 候補のアイコンを右クリックし、「**コミュニティに追加**」を選択します。候補デバイスのラベルはシアン、メンバーのラベルは緑です。

クラスタからコミュニティへの変換

クラスタ変換ウィザード は、クラスタ用の情報を使用してコミュニティを作成します。このウィザードでは、IP アドレスを入力すること、およびインターフェイス名とサブネット マスクを持っていないデバイスに対し、それらをプルダウン リストから選択することを求められます。コミュニティの作成と同時に Network Assistant によってクラスタが削除されることはありません。

クラスタ変換ウィザード を起動するには 2 つの方法があります。クラスタ コマンド デバイスに接続すると、ウィザードが起動し、クラスタをコミュニティに変換するかどうかの確認を求められます。または、機能バーから、**設定** > **クラスタ** > **クラスタ変換ウィザード** を選択して、ウィザードを起動することもできます

コミュニティの確認

コミュニティを確認するには、次の手順に従います。

1. **モニタ > ビュー > トポロジ** を選択し、トポロジ ビューを表示します。
2. **モニタ > レポート > インベントリ** を選択し、コミュニティ内のデバイスのインベントリを表示します。

このサマリーには、デバイスの型番、シリアル番号、ソフトウェアバージョン、IP 情報、位置といった情報が含まれています。

3. **モニタ > ビュー > 前面パネル** を選択し、前面パネル ビューを表示します。



インデックス

C

CDP

コミュニティ内の自動検出 [4-3](#)

Cisco Discovery Protocol

CDP 参照

I

IP アドレス

コミュニティ候補 [4-1](#)

N

Network Assistant

インストール

手順 [3-1, 3-2](#)

起動 [3-2](#)

接続 [3-3](#)

導入 [1-1](#)

Network Assistant のインストール

手順 [3-2](#)

必要事項 [3-1](#)

Network Assistant への接続 [3-3](#)

Network Assistant の起動 [3-2](#)

S

Smartports アドバイザ - [2-13](#)

ア

アクセスする

コミュニティ [4-4](#)

ウィザード [2-13](#)

エキスパート モード [2-13](#)

オンライン ヘルプ [2-15](#)

ガ

ガイド モード [2-11](#)

機能

ウィザード [2-13](#)

エキスパート モード [2-13](#)

オンライン ヘルプ [2-15](#)

ガイド モード [2-11](#)

ツールバー [2-8](#)

トポロジ ビュー [2-5](#)

- メニューバー 2-7
 - 前面パネル ビュー 2-3
 - クラスタ
 - クラスタ変換ウィザード 4-7
 - コミュニティへの変換 4-7
 - サイズ制限 1-2
 - 定義 1-2
 - クラスタからコミュニティへの変換 4-7
 - クラスタ変換ウィザード 4-7
 - 検出、コミュニティ
 - 自動検出 参照
 - 候補
 - コミュニティ内の自動検出 4-6
 - コミュニティ
 - アクセスする 4-4
 - クラスタからコミュニティへの変換 4-7
 - コミュニティ名 4-4
 - パスワード 4-8
 - マネジメント
 - ローカル PC 4-5
 - メンバー
 - 自動検出 4-3
 - 追加する 4-7
 - 必要事項 4-1
 - ホスト名 4-4
 - メンバーを追加する 4-6
 - 検討事項を嵐開きる
 - 情報を識別する 4-5
 - パスワード 4-4
 - ホスト名 4-4
 - 候補
 - 検出 4-6
 - コミュニティメンバーも参照
 - 追加する 4-6
 - 定義済 4-1
 - 必要事項 4-1
 - メンバーの自動検出 4-3
 - 作成する 4-6
 - 識別情報を保存する 4-5
 - 自動検出 4-3, 4-6
 - 制限 4-2
 - 通信プロトコル 4-5
 - 定義 1-1, 1-3
 - 利点 1-2
 - コミュニティの情報 4-5
 - コミュニティ内のデバイス制限 4-2
-
- ## サ
- 自動検出
 - CDP も参照
 - コミュニティ内 4-3
 - メンバーを追加する 4-6
 - 検討事項
 - 接続性 4-3
 - 非 CDP 対応可買 f バイス 4-7
 - 前面パネル ビュー 2-3

タ

対話モード [2-11](#)

ツールバー [2-8](#)

トポロジ ビュー [2-5](#)

ハ

パスワード

 コミュニティ内 [4-4](#)

ホスト名

 コミュニティ内 [4-4](#)

マ

マネジメント

 自動検出 [4-6](#)

メニューバー [2-7](#)

メンバー

 コミュニティに追加する [4-7](#)

 追加する [4-6](#)

メンバーを手動でコミュニティに追加する [4-7](#)

